

きょうわ

2012

2 / 14

No. 57

平成23年度 協和小学校教育目標

自立への芽をはぐくむ

インフルエンザの流行 … 協和小では小康状態

インフルエンザが猛威をふるい、全国的に大流行しております。県内や大仙市内では、学年や学級閉鎖などの措置をとる学校が増えてきていますが、本校では、下記のように小康状態が続いております。
(2月14日は午前11時現在)

期 日	2/1	2/2	2/3	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/13	2/14
インフルエンザ 罹患者数(人)	8	8	12	12	8	7	7	6	2	3
罹患者率(%)	2.7	2.7	4.1	4.1	2.7	2.4	2.4	2.0	0.7	1.0

これは、「手洗いやうがい、マスクの着用」など、家庭と学校が連携して感染防止策に取り組んでいる結果だと思えます。

しかし、油断はできません。協和地区、刈和野地区でインフルエンザがかなり流行しているという情報もありますし、神岡地区で「おたふくかぜ」、土川地区で「水痘」の発症が報告されています。

このように、様々な病気の流行がみられますが、インフルエンザ等の感染防止策に引き続き取り組んでくださるようお願いいたします。また、万一、高熱を発したりおたふくかぜや水痘の症状が見られたりした場合は、医療機関の受診等適切な処置をお願いいたします。

子どもたち自身で バスの乗り方 を考える … 協和小・中の連携で

本校児童会は、生活上の問題をとり上げ、その解決に取り組んでおりますが、今回「登下校時のバスの乗り方やマナー」に問題があるとし、先日、運営委員会のメンバーが協和中生徒会の代表と協議を行いました。問題とした「バスの乗り方」とは、

- ・席を立つ人が多い
- ・話し声が大きすぎる
- ・バスの中に雪やつららを持ってくる
- ・注意してもいうことをきかない
- ・待っている間、雪玉を投げたり雪山に登ったりしている
- ・お年寄りに席を譲らない
- ・整理券を落としたり出さなかったりする

などですが、今後、正しい乗り方を呼びかけていくことになりました。中には、「降車後、道路を渡ろうとしてバスの陰から飛び出す」「雪山に登って行って、バスの下に滑り落ちてくるのではないか心配」というような危険と思われる行為もあり、安全面については特に指導を強めているところです。今後も、「公共の乗り物の利用の仕方やマナー」を守ろうとする意識を高めたいと考えていますが、どうかご家庭でも話題にさせていただきたいと思えます。

